

関西広域連合協議会のあり方検討ワーキンググループにおける検討結果について

1 趣旨・経過

協議会の設置から 10 年以上の経過を機に、これまで協議会が果たした役割や広域連合をとりまく情勢の変化等を踏まえ、広域連合のあり方も含めて、協議会の役割や体制等を検討するため、令和 4 年 9 月開催の第 23 回協議会でワーキンググループを設置し、以下のとおり検討を実施した。

<ワーキングメンバー> ※五十音順

秋山 喜久 協議会会長
加藤 恵正 協議会委員（兵庫県立大学 特任教授）
新川 達郎 協議会副会長（同志社大学 名誉教授）
山下 淳 協議会委員（元関西学院大学 教授）

<開催日時・場所>

第 1 回 令和 4 年 10 月 17 日(月)14:00～15:28（オンライン開催）
第 2 回 令和 4 年 12 月 15 日(月)13:55～15:45（広域連合本部事務局大会議室）
第 3 回 令和 5 年 3 月 3 日(金)16:00～17:15（滋賀県庁知事室）
※三日月関西広域連合長との面談を実施
第 4 回 令和 5 年 4 月 12 日(水)13:30～14:40（滋賀県庁知事室）
※三日月関西広域連合長との面談を実施

2 ワーキンググループにおける検討結果

上記 1 を通して、資料 1-2 のとおり、「未来の希望を担う関西広域連合のあり方に向けた提言（案）」をとりまとめた。

については、連合委員会宛てに当該提言案を提出し、今後の検討を求める。

<今後のスケジュール>

- (1) 現在の協議会委員の任期中（令和 5 年 8 月 31 日まで）
連合委員会宛て提言の議論を継続
- (2) 次期の協議会委員の任期開始（令和 5 年 9 月 1 日）
新たな協議会委員体制を構築